

安心して入学を迎えるために 家庭でも心がけたいこと

お子さんが安心して楽しく小学校生活をスタートできるように、園も小学校も様々な工夫をしています。ご家庭でもお子さんの成長を温かく長い目で見守りましょう。たくさんの遊びから多くのことを経験させたいですね。

心の安定を

ありのままの自分が受容され、安心して自己発揮する中で、自分のよさに気付き、好きなことや得意なこと、できることが増えていきます。無条件に愛されることにより、自分を大切に心が育まれます。



見守る・認める

小さな失敗を重ねながら、自ら考えチャレンジする姿を見守られ、認められることで、自己肯定感が育まれていきます。片付けやお手伝いでの成長の姿を逃さず、感謝したり褒めたりすることで子どもの自信につながります。



早寝・早起き・朝ごはん

生活リズムが整うことで、学習や運動に向かう気持ちや自分のことは自分ですといった自立に向かう気持ちが育ちます。脳や体のエネルギーの源となる朝ごはんを食べることで、一日を元気に過ごせます。



あいさつ・返事

人と人との関係づくりの第一歩です。大人の姿を見ながら子どもたちも自然にできるようになります。あいさつは仲よくなれる魔法の言葉です。



たくさん話そう

子どもの話を最後まで真剣に聴くことで、言葉を通して気持ちや思いを伝え合う力が育まれます。困ったときに困ったことを言えることも大切です。



たくさん遊ぼう

夢中になって遊ぶ中にたくさんの学びがあります。生活に必要な知識や技能を身に付けるなど遊びを通して小学校生活につながる生きる力の基礎を学んでいます。体を動かす遊び、自然体験などをご家族と一緒に楽しみましょう。



Q 乳幼児期ってどんな時期？

A 安心感の得られる環境の下、身体の諸感覚を使った豊かで多様な体験を通して、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる時期です。

Q 乳幼児期の教育・保育では、どんなことが大切？

A 自分から興味をもって環境に主体的に関わりながら、充実感や満足感を味わう体験を重ねていくことが大切です。



子どもの育ちを見るポイント

0歳児



安心できる環境の中で、一人一人の子どもが自分でやってみようとする気持ちを尊重しながら場と時間を保障することで、興味・関心が広がっていきます。

1歳児



子どもが他者と関わる過程で、大人が子どもの思いを受け止め、時には気持ちを言葉にしてあげること、様々な人と関わる力が育っていきます。

2歳児



友達とやり取りする場や時間を保障することで、新たな気付きや葛藤、心の揺れを通して、協同性や社会性が大きく育っていきます。

3歳児

4歳児



子どもの主体性を尊重することで、子ども自身が「やってみよう」「はてな？」を解決しようとする意欲が高まっていきます。

5歳児

実際の遊びの様子はこちら
～子どもの世界をのぞいてみよう～



0～1歳児



2～3歳児



4～5歳児

子どもが楽しんでいることやこだわっていることなどについて、関心をもって見てみましょう。遊びを通じた多様な体験におけるプロセスで、感じたり考えたり試行錯誤したりしながら、学びの芽が育まれていきます。

新1年生の
保護者

就学前教育・
保育施設
教職員

小学校等
教職員

自治体の
方々

就学に関わるみなさまへ

もうすぐ1年生

～育ちと学びを未来につなぐ～



説明動画は
こちらから
ご覧になれます



発行：秋田県教育委員会
問い合わせ先：秋田県教育庁幼保推進課
TEL：018-860-5126
E-mail：youho@pref.akita.lg.jp

秋田県教育委員会



わか杉っ子元気に! ネット
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/77520>



保護者のみなさま こんな不安はありませんか？

ひらがなが書けないけれど…いいのかな？

友達ができるかしら？

安全に登下校できるかな？

給食を残さず食べられるかな？

座って先生の話を聞けるかな？

文字の読み書きや計算は、基本から学びます。

これまでの人間関係を基盤にしなが友人関係が広がります。

入学までに散歩などで学校までの通学路と一緒に確認してみるといいですね。

入学当初は、給食を楽しく食べられるように様々な工夫をしています。

入学当初は、柔軟なカリキュラムが組まれています。

乳幼児期の育ちと学びが小学校以降での学びや生活の基礎につながっています！



遊びは学び。自発的な活動としての遊びや生活を通して、人、もの、出来事に関わった経験が、小学校生活の基礎となります。

乳幼児期にふさわしい遊びや生活を通して、この時期ならではの資質・能力を育み、小学校での学びや生活につながるよう指導計画に基づいた教育・保育が行われています。

生活や学び方が変わっても、乳幼児期に身に付けた力を生かし自信をもって過ごすことができるように、入学当初の学校生活はスタートカリキュラムから始まります。

スタートカリキュラムは、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた育ちと学びを基礎として、安心して学校生活をスタートさせ主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

資質・能力の3つの柱は、乳幼児期から18歳まで一貫して育成されるもの〈0歳～18歳までの育ちと学びの連続性〉